学校番号	T3011

令和８年度　工業科（HS 系列）

教科	工業	科目	（学）応用実習	単位数	４単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実習の作業を通して色々な工業分野の技術を習得し、新しい技術に自分から対応できる能力と態度を育てる。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
工業の各分野に関する高度な技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
工業の各分野の高度な技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術 の進展に対応し解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野に関する高度な技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む 態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ものつくりに関する工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれた在り方および現代社会における工業の意義や役割を理解している。	ものつくりに関する工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現する能力を身につけている。	ものつくりに関する工業技術に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展をはかる創造的・実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
パート1	CAD3	3D－CAD の概要 ・ 実技練習課題 無作為の課題 部品等の作成 ・ 作品作成課題 部品を作り一つにまとめる 可動部の確認	a:３Ｄ－ＣＡＤによる作品が正確に作成でき、意義や役割を理解しているか。 b: ３Ｄ－ＣＡＤに関する正しい思考・判断ができているか。 c: ３Ｄ－ＣＡＤに興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。	出席 作品 授業態度	出席 作品 授業態度	出席 作品 授業態度
パート2	ペーパークラフト3	・応用正多面体の製作 （展開図の製作） ・準応用正多面体の製作 （展開図の製作） ・自由創作作品制作	a: ペーパークラフトによる作品が正確に作成でき、意義や役割を理解しているか。 b: ペーパークラフトに関する正しい思考・判断ができているか。 c: ペーパークラフトに興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。	出席 作品 授業態度	出席 作品 授業態度	出席 作品 授業態度
パート3	木工加工3	任意の作品の製作 ・製作方法の説明、 各パーツの図面作成 ・工具の名称と 取り扱い方法。 ・各パーツの作製 ・各パーツの組み立て、 仕上げ研磨および塗装	a: 木工加工による作品が正確に作成でき、意義や役割を理解しているか。 b: 木工加工に関する正しい思考・判断ができているか。 c: 木工加工に興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。	出席 作品 授業態度	出席 作品 授業態度	出席 作品 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度